

| 部 会 | 研究主題・平成元年度(第3年次)研究副主題 |
|-------------|--|
| 数 学 | 生徒一人一人の課題追究の意欲を高め、自ら学びとる力を身につけさせるには、どう指導したらよいか。 ○「関数」の領域について |
| 理 科 | 生徒が自ら意欲的に自然を調べるための授業は、どうあればよいか。 ○個を生かす指導法の改善 |
| 音 楽 | 音楽の美しさを求め、意欲的に学習する生徒を育てる指導はどうしたらよいか。 ○創造的な音楽活動を育てる指導と評価 |
| 美 術 | 意欲的にとりくませ、造形活動の喜びを味わわせる指導はどうあればよいか。 ○表現意欲と指導法 |
| 保健体育 | 運動の合理的な実践を通して、強い意志力や体力をいっそう高める授業はどうすればよいか。 ○運動に親しむ態度の育成と評価 |
| 技術・家庭 | 創造性を伸ばし、実践力を育てる学習指導はどうすればよいか。 ○検証とまとめ |
| 外国語 (英語) | 生徒一人一人の表現力を伸ばすには、教科書の活用と授業展開をどう工夫したらよいか。 ○生徒相互の言語能力を高める指導技術の研究 |
| 道 徳 | 価値を主体的に自覚し、道徳的实践力を高める道徳の時間の指導は、どうあればよいか。 ○価値を主体的に自覚し、道徳的实践力を高める効果的指導法 |
| 特別活動 | 望ましい集団活動を通して、自主的、実践的な態度を育てる特別活動の指導はどうあればよいか。 ○自主的、実践的な態度を育てる指導と評価の工夫 |

② 組織及び財政の状況

- 会 長 菅 野 好 男 福島市立福島第二中学校
- 会員数 4,681名
- 平成元年度の決算額 9,785,800円
上記のうち県補助金 1,360,000円

③ 主な事業

○ 研究協議会

ア 主 催 福島県中学校教育研究会

イ 共 催 福島県教育委員会

ウ 期日・会場

(ア) 支部研究協議会 7月22日～8月25日の内1日間
県内16会場

(イ) 県研究協議会 10月18日(水)～10月19日(木)の2日間
県北地区12会場

エ 参 加 者

国、公、私立の中学校教員

○ 支部研究協議会 4,681名

○ 県研究協議会 1,490名

オ 指 導 助 言 者

指導主事、指導委員、校長、教頭、教諭等

(4) 福島県小学校長会

① 組織及び財政の状況

- 会 長 飛 田 昭 榮 三春町立三春小学校

○ 会員数 552名

○ 平成元年度の決算額 16,405,030円
上記のうち補助金額 240,000円

② 主な事業

○ 第18回福島県小学校長会研究協議会二本松大会

・ 研究主題 21世紀に生きる日本人の育成をめざす小学校教育の創造

・ 開催期日 10月3日(火)・4日(水)

・ 開催地 二本松市

・ 参加人数 553人

(5) 福島県中学校長会

① 組織及び財政の状況

○ 会 長 佐 藤 寛 福島市立福島第四中学校

○ 会員数 244名

○ 平成元年度の決算額 4,240,133円
上記のうち補助金額 170,000円

② 主な事業

○ 第18回福島県中学校長会研究協議会二本松大会

・ 研究主題 21世紀を拓く日本人を育成する中学校教育

・ 開催期日 10月3日(火)・4日(水)

・ 開催地 二本松市

・ 参加人員 249名

(6) 福島県公立小・中・養護学校教頭会

① 組織及び財政の状況

○ 会 長 丹 治 和 美 福島市立大森小学校

○ 会員数 839名

○ 昭和63年度決算額 5,919,744円
上記のうち補助金額 210,000円

② 主な事業

○ 第11回福島県公立小・中・養護学校教頭会研究大会
白河大会

・ 研究主題 明日をひらく学校教育の推進と教頭の在り方

・ 開催期日 9月13日・14日

・ 開催地 白河市

・ 参加人数 839名

(7) 福島県へき地・小規模学校教育研究会

① 組織及び財政の状況

○ 会 長 鈴 木 一 朗 福島市立月輪小学校

○ 会員数 1,325名

○ 平成元年度決算額 1,588,340円
上記のうち補助金額 180,000円

② 主な事業

○ 県研究大会

・ 研究主題 ふるさとを愛し、実践力をもって主体的に生きる心豊かな子どもの育成

・ 開催期日 10月17日(火)

・ 会 場 いわき市立川前小学校
同 川前中学校

・ 参加者数 315名